



公開プレゼンテーション

2005年6月12日開催
発行:玉川まちづくりハウス・大和市市民活動課

はじめに

2005年6月12日に大和市協働事業提案・公開プレゼンテーションが開かれました。公開プレゼンテーションの目的は提案者の提案内容を説明し理解してもらうことにあります。公開で行うことで、提案者が相互に学び合いネットワークを広げることも期待されます。

7月17日の公開検討会までの約1カ月間を公開調整期間とし、提案者と市の担当課、協働推進会議委員で協働事業の可能性を考えます。

提案者が事業内容をプレゼンテーションし、その後各テーブルに分かれて自由に意見を交換する「提案市場」が行われました。さらに、それを踏まえて協働事業とするための具体的なアドバイスや、担当すると考えられる市の担当課との、7月17日までのスケジュール調整をシートに書き出してもらい発表するという流れで、会議は進められました。

プレゼンテーションを始めるに当たり、協働推進会議の渡辺精子代表からあいさつがあり、続いて今年度の協働推進会議委員の皆さんの自己紹介がありました。

～渡辺精子代表の挨拶～

今日は市民からの提案が11件、市からの提案が4件と提案数も多く、日曜にもかかわらず多くの市役所の方にもご参加いただきました。大いに期待しています！



約150名の方が参加して会場は満員となりました。起立しているのは大和市の職員の方々です。

大和市協働事業提案の日程

6月12日

公開プレゼンテーション

協働事業提案者が提案内容を公開で説明し、協働する相手先を検討するためのプレゼンテーションです。
(このニュースでお知らせしている会議)

提案者、市の担当課、
協働推進会議委員との
公開調整期間

7月17日
公開検討会

8月予定
市長への提言

9月予定
市長の検討結果説明

市民から提案する協働事業

- 1 市役所関連施設の忘れ物傘の再利用(リユース)事業
- 2 市民へのより良いスポーツ環境の提供
- 3 出張教室からひろがる温暖化を考える会
- 4 つきみ野けやき並木再生に向けて
- 5 つるま自然の森 緑育事業 - 緑を育て、緑で育つ -
- 6 カラオケとふれあいの場「ミニデイサロン」
- 7 空き店舗活用による子どもの居場所作り

- 8 新体操教室
- 9 高齢者の体力作り支援事業
- 10 まほろば子ども文芸大賞
- 11 ボランティア預託 LOVES

市から提案する協働事業

- 12 「防犯マニュアル」作成事業
- 13 道路環境美化ボランティアの里親制度
- 14 “ふくしの手全員集合”
- 15 資源とごみの出し方変更に関する市民説明会
協働開催事業

全体の流れ

協働事業提案のプレゼンテーション

協働事業の各提案者に事業の概要について、5分以内で説明していただきました。

提案市場で理解を深める

それぞれの提案をボードに張り並べて、市場方式で自由に質問やアドバイスのやり取りをしました。参加者は、それぞれ興味のある提案のテーブルを回り、理解と交流を深めました。

質問やアドバイスはふせん紙に書いてチェックポイントシートに張りました。



グループに分かれて、協働事業実現のためのアドバイス、スケジュール調整と発表

提案を6つのグループに分け、それぞれ担当の推進会議委員を中心に提案内容を確認し、関係する行政所管課や市民活動団体などを話し合いました。そして、公開検討会（7月17日）に向けて行う調整について検討し、グループごとに発表しました。

A	6. カラオケとふれあいの場 「ミディサロン」	B	2. 市民へのより良いスポーツ環境の提供
	9. 高齢者の体力作り支援事業		8. 新体操教室
C	3. 出張教室からひろがる温暖化を考える会	D	4. つきみ野けやき並木再生に向けて
	10. まほろば子ども文芸大賞		5. つるま自然の森緑育事業 緑を育て、緑で育つ
E	1. 市役所関連施設の忘れ物傘の再利用（リユ-ス）事業	F	12. 「防犯マニュアル」作成事業
	7. 空き店舗活用による子どもの居場所作り		13. 道路環境美化ボランティアの里親制度
	11. ボランティア募集LOVES		14. “ふくしの手全員集合”
	15. 資源とごみの出し方変更に関する 市民説明会協働開催事業		

次ページから提案事業別に内容をまとめています。番号は当日の発表順です。

1. 市役所関連施設の忘れ物傘の再利用(リユース)事業[二条通り商店街振興組合]

私たち二条通り商店街はこれまでも、段ボール回収やエコバッグ、スタンプの推進、ブルトップ集めなど環境に配慮する運動をやってきました。今回は「再利用」です。市役所の忘れ物傘を商店街で貸し出すことで、「大切にしてお返ししよう」という心、リユースを考える心を育てることができる。お客様のほうは雨の日に傘を借りるという利便性があり、商店街のほうは、返す時にもう一度お店に

来ていただけるという利点があります。そこで話し合うことで将来、商店街で環境問題を話し合えるコミュニティをつくることにつながります。それはやがて地球温暖化防止や世界平和にもつながるという壮大な計画です。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
<p>協働の体制づくりのためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行、規則(大和市物品取扱規則)では、物品(市の所有となった拾得物を含む)のうち不要物品の処分は「売却、焼却及び廃棄」としか規定されていません。[契約管財課] ・ 新しいルールづくりについて一石を投じたと思います。市民にリユースの大切さを広げてもらいたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的でわかりやすい提案ですね。公共の置き忘れ傘も賛成ですが家の中で眠っている傘も受け付ける予定はありますか? ・ アメリカのアンプレラ・プロジェクトをやった女性がいます。“エイズ子どものための基金づくり”
<p>事業の実現性を高めるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 傘のリサイクルについて、大変おもしろい発想です。ぜひ市にそうした視点を持ってもらって、ルール変えをしていくよう市の努力を求めます。 	
<p>その他のアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まず市施設が始めるべきで、商店街などに広げるべき[産業振興課] ・ まず市のルール変えが必要なのではないでしょうか。特に協働事業でやりたいというこだわりがないならば市でやった方がスムーズに行くのでは... ・ 不要品の取り扱いルールを整理できれば実行可能 ・ 傘の提供 ルール ・ 行政が傘のとりまとめをどこまでかかわっていくか、その手続き面をしっかりと打ち出すことが必要 	

発表

- ・ 協働する行政側がどこかはっきりしない点があります。
 - ・ しっかりとしたルールづくりをまずしていくべきでしょう。
 - ・ 忘れ物を貸し出すということが法的に難しいところもあります(盗品があるかもしれないという点で)。
- [協働推進会議委員]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約管財課 ・ 環境総務課 ・ 産業振興課 	

2. 市民へのより良いスポーツ環境の提供[NPO法人リアライズ]

スポーツをやりたい人にいつでもできる場を提供したい、というのが目的です。一般の人が何かスポーツをしたい場合、大和市内のチームに所属するしかないのですが、チームに入ると当番などの雑務を親がいやがるという理由で、なかなか気軽に取り組めないこともある。そうした心配なしに誰でもが広いコートでスポーツをする経験をさせてあげたい。いずれは野球、サッカー、バレーなど

幅を広げたいと考えていますが、まずはバスケットボールで活動の基盤をつくりたいと思っています。またチーム内部では相談しにくい事柄などを相談できる場を設けるとともに広報に努めたいと考えています。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
	<ul style="list-style-type: none"> この事業の収入はどのような見込みを立てていますか？参加者は有料ですか？無料ですか？ 経費負担の分担はどのように考えているのですか？ (事業のバランスシート) 学校における部活動との関係、またはそれぞれの学校のコーチ（顧問の先生）との関係調整は？ バスケによる進学指導もするのか？

発表

- 活動できる小学校が現在は渋谷小学校のみという実情です。活動拠点の確保が課題となります。
[協働推進会議委員]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ課 スポーツ振興公社 	<ul style="list-style-type: none"> 活動拠点の確保 スポセンを利用できるのが理想（親の送迎には駐車場が必要） 小学校は渋小の正規コート スケジュールは今後の調整



3.出張教室からひろがる温暖化を考える会[五十嵐典生]

自分は暑いのが嫌いで、過ごしやすい環境を整えたいと考えたことから、この事業は始まりました。温暖化はどんどん進みますし、これはもう誰にも止められない。しかし黙って見ているわけにはいかないのどうしたらいいか。そこで温暖化をみんなで防止するために仲間を募りたいと考えました。現在のエネルギー事業を新エネルギー利用の方向へ進め、そのことを子どもたちにも伝えて

いかなければなりません。誰のものでもない地球を勝手に壊しているのは我々です。これに歯止めをかけるため皆さんのお知恵を借りたいと思っています。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
<p>協働の具体的内容に対するアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で開かれている交通教室のような形で毎年同じ時期に学校を訪問して環境教室のような形で開催し、子どもたちに伝えてほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経費の負担はどのように考えていますか？事業としてのバランスシートをお示してください。

発表

- ・ 協働できる相手を手広く探していきたいということで、協働推進会議委員と一緒に適切な行政を考えていきたいと思います。[提案者]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張教室からひろがる温暖化を考える会から適切な行政機関を探す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体案を示す ・ 教育委員会と話す ・ 他行政所管課と話す



4 . つきみ野けやき並木再生に向けて[つきみ野けやき並木を考える有志の会]

つきみ野には69本のけやき並木がありますが、昨年の3月に6本が伐採され、その時点で3年前から全面伐採が決まっていたことを知りました。住民アンケートを実施した結果、そのことを90%の住民が知らないということがわかりました。日当たりや落ち葉等の問題もありますが、住民の多くはけやきに愛着も感じているということがわかり、何とか残せないかと昨年提案書を提出、市からも残せるものは残すとの回答を得ました。まず

は自分たちができることから始めようということで樹木医に話を聞き、「剪定」にポイントを置いて考えることにしました。街路樹は行政の管轄という難しい面もありますが、モデル剪定 落ち葉サポーターの募集 存続が難しい樹木の選定 プチ樹木医育成活動の4点を協働事業として提案したいと考えています。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
<p>協働の具体的内容に対するアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイント 並木、緑地、樹木の保全に関して会、近隣住民、市が協議する前提として剪定が重要 ・ポイント つきみ野の剪定を踏まえた樹木の保全のプロセス方法を大和市のモデルとできる ・ポイント 剪定による情報提供を踏まえた協議が公共性につながる ・小ぶりで美しいケヤキ並木に剪定した事例見学会の実施 沿道住民の見学会への参加 モデル剪定への理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に対する経費はどこが負担するのですか？
<p>その他のアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケヤキ並木だけではなく全体的に考えるようなものになると良いと思います。 ・美しいけやき並木をつくることで将来的にはドラマ撮影を誘致するなど仮の目標とし、それにより「美しい街並がある市」として大和市のイメージアップを図ることができることを市にアピールしてはいかがでしょうか。この活動が成功すれば市内のいろいろな場所にも活動が広がり大和市全体が綺麗になるかも知れませんね・・・ 	

発表

- ・行政と役割分担して話を進めたいと思います。いろいろな課の方とお話したいのですが、まずは土木総務課に中心になってもらって、まとめてもらいたいと思います。[提案者]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土木総務課 ・ 土木管理課 ・ 水とみどり課 ・ 都市整備課 ・ 自治会 <p>と調整</p> <p>* 協働事業 剪定・調査 協議（公開）</p> <p>→美しい並木 →里親制度 (アダプト・プログラム)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月20日調整 ・ 市民・提案者 落ち葉サポーター協議 ・ 市 看板の設置 / 広報 / 剪定 = 現行予算

今、子どもたちは、して良いこと・悪いことのけじめを知らず、自然の現実を知らず、個で育っています。そのような子どもたちが、緑を育て、そしてその緑で子どもたちも育つことを目的とする「緑育事業」を提案します。内山自治会、内山子ども会、内山を住みよくする会、森の地権者の方、つるまの

森保全協力会などの地域の大人たちが大和市役所の方とも協力しあって、森を愛する心を育て、緑を残すため、森の保全と修復、調査などの活動をします。もっと森と仲良くなり、森を楽しみましょう。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
<p>協働の具体的内容に対するアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑育に関して <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが参加する必要性 応募がないことに対する課題は提案者、市ともに共通、子どもの参加を促す方法を協働で検討 ・ つるま自然の森公園での活動について <ul style="list-style-type: none"> つきみ野学習センターと中央林間コミュニティセンター(安全なまちづくり課)と協議の必要性 ・ つるま自然の森公園で活動する他のボランティア団体と連携 ・ 子どもを集めるための方策を考える 	

発表

・ 水とみどり課と調整を考えています。子どもたちが緑を育てる、ということが目的なので、子どもにどう参加してもらえるかを考えることがポイントになります。学童保育や学校での緑の学習に使ってもらうなどの方法が考えられます。[協働推進会議委員]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水とみどり課(メイン&パイプ役) ・ 土木部/道路整備課/道路管理課/都市総務課/都市整備課/他の市民団体:つるま自然の森保存会など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案者と水とみどり課 具体的な提案を両者で検討 ・ 具体的な提案に沿って他の関係機関と調整 子ども会(青少年センター) 小学校(総合学習) ・ 市 関係部署の紹介と調整 協議の場設定(学習センター・コミセン) ・ 市と提案者 森の番人 公園の番人(管理人) 責任の所在協議

6. カラオケとふれあいの場「ミニデイサロン」[ニコニコ会]

もともとは市社協のエンゼルというデイサービスと元気教室のボランティアの仲間たちが、何かできないかと集まって始めた事業です。高齢者、障害者を対象に、昼間営業していないスナックなどを借りてカラオケとおしゃべりをし、楽しく過ごせる場を提供したいと考えています。言語障害の

方もカラオケだと声がよく出たり、グループホームの方が歌って楽しんで、とじこもりをなくすという効果もあります。将来的には仲間を募ってそのような場を増やしていきたいと考えています。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
<p>協働の具体的内容に対するアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主旨をもっと具体的に絞った方がよい ・ 公共性のある場所での実施をしてはどうか(スナック以外) ・ 11:00 ~ 16:00の間ずっとカラオケとなると「ミニデイサロン」としてちょっときびしいかなと思いました。実際にきついです。おしゃべりタイム、歌のタイムなどスケジュールに工夫ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働事業となれば広報がもっと進められるニーズが掘り起こせるのでは？ 公共の場ではない個人の場合なので広報してくれない 協働事業として行政内等の担当課に広報してほしい ・ 現在実施している対象者は何人か？ 1日1人、1カ月に述べ30人で障害者が多い ・ コミセンのカラオケとの違いは何か？ カラオケ以外でも高齢者の憩いの場としても活用する ・ 行政は障害者、高齢者、年令等の制限があるサービスの提供しかないのか？ 地域によっては総合で行っている
<p>協働の体制づくりのためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が集まる地域の場合であるのかどうか。目的を明確にさせていく必要がある。地域の民生委員との連携をしてはどうか。事業の特徴を明確にすべき ・ 高齢者が通っていた「元気教室」の代わりに場の提供を考えた ・ 目的を明確にしたほうが検討しやすい ・ 以前に1時間200円という参加費の発生で市の広報を利用できなかった グループへの働きかけはできる [高齢者福祉課] 	
<p>事業の実現性を高めるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カラオケ以外の目的をカバーできる目的が望ましい ・ 障害者への支援ということには理解ができる。対象を問わない場の提供であれば新しい試みと思われる ・ 目的の具体化 	

発表

- ・ 目的を具体化していくようにしましょう。高齢者、障害者の関係課と調整していくことになります。
[協働推進会議委員]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉課 ・ 障害福祉課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月・水・金

7. 空き店舗活用による子どもの居場所づくり [NPO法人地域家族しんちゃんハウス]

現在しんちゃんハウスには、子育て中の若いお母さん、障害者の方、お年寄り、小学生もニートもいるいろな方が集まってきています。そのような場が“点”として存在してもうまく機能しない。毎日の生活の一部でなければなりません。大和市には子育て支援センターが1カ所しかなく、市の子育てプランなども利用する時間と場所が決められてしまって

チェックポイントシート

います。いつでも利用できる場を中学校区域に1つくらいつくりたい。そのためには金銭面でのパイプがないと実現しません。マネジメントの面も今日は勉強したいと思っています。



提案に対するアドバイス	質問
<p>協働の体制づくりのためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居場所づくりから始めてその後の方向性が今後の課題なのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ランニングコストの試算をお示してください。マンパワーを維持するには、低額でも有償でないと続かないのでは？
<p>事業の実現性を高めるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続性のある事業にするため、事業展開計画、補助金以外の資金計画を明確にしたうえで、商店街との協議が必要となるのでは [産業振興課] ・ 商店街を巻き込んで安価で拠点の提供を受けられるようにできないか ・ 「若いママが求める商店街づくり」と称して、ニーズ調査をして、若いママと一緒に商店を盛り上げていくような提案をしていってはどうか 	
<p>その他のアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗を探す時、貸すということにメリットをもっとアピールできる仲間を探す ・ 空き店舗の利用に商店街の協理理解の他に、多様な市民団体(子育てや障害者、高齢者、外国籍、青少年関連)などとの横の連携をした多機能な場に！ ・ 空き店舗の活用として保育施設・遊び場施設としては、商店街活性化としても、商店街の中心、または駅付近に設置することと、商店街へ人の流れを多くすることにつながることから商店街との協働事業として考えたらどうか ・ 協働事業として長期にわたり推進するために、青写真をつくり、目的を達成するために市民と行政の担う役割を整理する ・ 商店街との一時保育といった方向での協働も考えられるのではないのでしょうか ・ あちこちできている地域に根ざしたところの見学をおすすめします。コス下北沢は参考になりますよ。 ・ しんちゃんハウスでボランティアラブをやりませんか？ ・ 子育て支援センターが市内に一カ所しかない状況はとても不足していると思う。その点から考えると必要だと思う市民と商店街の活性化が結びついて、第2第3のセンターが生まれようとしているので、市としても積極的に支援をしていく必要があるのでは。チャレンジ性をぜひ評価してほしい 	

発表

- ・ 事業として不確定のところもありますが、計画していくところから市と一緒に協働して進めてほしいと思います。 [協働推進会議委員]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童育成課 ・ 産業振興課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しんちゃんハウスとLOVESの両者の組み合わせで行動計画がきちんとしたものをつくったらどうか

8 . 新体操教室 [大和市体操協会]

大和市内で体操、新体操の普及を目指す提案です。男子の新体操の団体は大和市に1つしかなく、神奈川県の高校の中でも1つしかありません。平成10年に神奈川県でスポーツ振興指針が出され、12年にはスポーツ振興基本計画も出されて、子どものス

ポーツを推進する気運が高まっています。大和市でも総合型地域スポーツクラブの基盤をつくりたいと思います。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業に要する経費の負担先はどこですか？ ・ 中学段階において、どのように指導していくつもりなのか？ ・ 進学はどのようにサポートしていくのか

発表

- ・ 当面の活動場所の確保が課題です。大和市はスポーツ文化の施設が少し寂しいように感じますが。
[協働推進会議委員]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ課 ・ 青少年センター ・ スポーツ振興公社 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動拠点の確保 ・ 最終目標は「総合型地域スポーツクラブの基盤づくり」だが、当面は「場所の確保」を要望する。 ・ [現状] スポーツセンター、青少年センター、小学校では引地台小学校のみ) 器具が不足している) ・ 場所の確保としては「定期的な時間 / 定期的な場所」を確保したい。 ・ 大和市体育協会に加盟されることも、活動場所の確保につながるのでは。 ・ [現状] 大和市体育協会に加盟するには5年の活動実績を要する 大和市体育協会に加盟すると優先的に施設確保できる ・ スケジュールとしては今後提案者と行政両方で調整していく。



9 .高齢者の体力作り支援事業[社会福祉法人敬愛会 敬愛の園]

大和市で45年間活動しています。高齢者の体力維持と向上のために体力づくり教室を提案します。1回3時間、10名程度で3カ月を1期間とし、マシンを使ったり、体操をしたりして、転倒を防止し高齢者がいつまでも楽しく元気に過ごしてもらおうお手伝いします。理学療法士や保健

師など専門的な知識を持った方に協力をお願いし、今回の協働事業を知り、応募しました。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
協働の具体的内容に対するアドバイス ・目的と特長を明確にすること	<ul style="list-style-type: none"> ・3時間のトレーニングは長いのでは？ 準備体操 トレーニング 整理体操 水分補給まで含めています。機器の台数、メニューの順番の都合もあります ・協働事業として敬愛会のメリットは？ 地域貢献、職員のスキルアップ、介護以外のサービスの幅を広げる ・PT、保健師の派遣は可能か？ 週1回の派遣を市職員が行くことは難しいが、集中して評価をする期間が定まっていれば可能性がある。技術的なものアドバイスは可。予防介護の方向性も示唆 ・介護予防についての市の取り組みは？ とじこもりのないように介護保険事業のサービスを提供。ひまわりサロン、訪問サービスを実施している。パワーリハビリへの展望も期待している。 ・具体的に市としてパワーリハビリへの取り組みを考えているか？ 他市の取り組みを見ながら考えたい ・週1、2回の講習での後の継続についてはどうするか？ 対象者を決めて実施していきます
協働の体制づくりのためのアドバイス ・市の中でも介護予防について検討することができる	

発表

- ・さらに協働事業ならではの特徴をはっきりさせる必要があります。[協働推進会議委員]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢福祉課 ・ 福祉総務課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 21(火)～23(木)

10 .まほろばこども文芸大賞[まほろば子ども文芸大賞実行委員会]

36年間、子どもの作文の評価をしてきました。作文とは自分のことを語る力です。今子どもの表現力は全国的に低下し、定式的な表現、ワンパターンの作文が多くなっています。自分で感じて自分の言葉で語る、教育の本質は言語です。自分で表現してはじめて考えが定着します。そのことをい

ろいろなメディアを通じて今まで訴えてきましたが、大和市でも文芸大賞をやりたい。現場の中で地域に根ざした言葉を起こしていく。細かい雑事は全部やりません。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
<p>事業の実現性を高めるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校への説明を急げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の経費の原資はどう考えていますか？
<p>その他のアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現力というのは自己決定能力だと思います。幼児の時代、幼稚園・保育園の現場が、一斉強制、有無を言わせない保育のカタチが表現力の乏しさにつながっているのだと思います。 	

発表

- ・共催できるのか、協働となるのか調整していきたいと思います。適切な行政を探していきたいです。
[協働推進会議委員]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
<ul style="list-style-type: none"> ・まほろば子ども文芸大賞実行委員会 ・推進委員会側と提案者側で実施方法について話し合う ・共催か後援かはっきりさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員と提案者の話し合い ・共催とできるよう調整を行う

11. ボランティア預託LOVES[山口久子]

2007年問題というのをご存じですか？団塊の世代が定年になり地域に帰ってくる、というのが2007年と言われていました。団塊の世代に定年後に何をしたいかアンケートを取ってみると1位が仕事、2位がボランティア、3が旅行ということで、その力を地域のために活かしてもらいたい。そこでLOVESで何か仕掛けができないか考えました。今、

子どもたちが体験とコミュニケーション不足などでひ弱になっていると感じられます。私は5年間クラママで地域通貨を使ってみて、犬の散歩、農業、韓国語の勉強など本当にいろいろな体験をしました。この初めてのワクワク体験を子どもたちにも味わわせたいと思っています。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
協働の具体的内容に対するアドバイス ・ 施設で円をもらって働いている人を「ボラブ」にはできない	
その他のアドバイス ・ ぜひ全市的に広げるためにも協働事業をするメンバーの募集と、各場所で行っている試み(お祭りのなもの)を实际やって、市民、住民にイメージでき、実感できる場づくりを企画してほしい ・ 核組織づくりができてくれば、良い方向にラブズが循環してくるのではないのでしょうか。 ・ コミュニティに入っていない人たちに周知のための広報 ・ 協働事業として推進するために、提案者と行政の役割を整理する ・ ボランティアとポイントの活用との需要と供給がうまく運用できるのか ・ 使われていない登録ボランティアの活性化につながるので、とても良いと思うが、コーディネートのイメージが持ちにくい	

発表

- ・ まず地域コミュニティの中で活動をしっかりしてから広めることを考えましょう。モノとの交換でなく人と人との結びつきとして使用できるようにしたい。
- ・ 価値ある行為だが個人提案はむずかしい。組織づくりの調整が必要です。[協働推進会議委員]

関係する行政所管課や市民活動団体	協働のためのアドバイススケジュール 6月12日から7月17日まで
・ 情報政策課	

12. 「防犯マニュアル」作成事業 [市安全なまちづくり課]

安全なまちづくり課は今年の4月に新設されました。大和市の犯罪件数は神奈川県でもワースト3に入るほどでしたが、平成15年から自主防犯とボランティアのパトロール隊が結成され、平成16年には犯罪件数が1100件も減少しました。しかし、まだワースト10に入っています。アンケートをとると治安が悪いと考えている市民が70

%もいます。全国的には、ピッキングや振り込め詐欺対策などの防犯マニュアルはありますが、自分たちのまちを自分たちで守るという、大和市向けの身近なマニュアルにしたいと考えています。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
<p>協働の具体的内容に対するアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ごとに防犯情報地図をつくるなど、地域版マニュアルを地域の住民とつくってはどうか ・ 犯罪の温床を探る。予防防犯の確立。犯罪が発生してからの処置。以上3点を確立してほしい 	
<p>協働の体制づくりのためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案者が中心になって不特定多数の市民を募って研究会を組織して、まとめる方式は？ ・ 警察との連携 警察と市民の橋渡しの役を行政がする 自治会を利用する 	
<p>その他のアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯マニュアルには防犯だけでなく、それに至る風俗ビラ等の撤去もあると考え、除去協力員の養成としての窓口を1つの項目に載せることを検討したほうがよい ・ 犬の散歩時に「防犯」とわかるような持ち物を考えて持ってもらおう ・ 自転車の買い物カゴに「防犯パトロール」のゼッケンまたはカードなどをつけてもらう ・ 自治会単位で実施している防犯パトロールの組織化 	

発表

- ・ 市民のほか、PTA、自治会にも声をかけていきたい。[提案者]
- ・ 公募と協働の違いをはっきりさせるべきです。 [協働推進会議委員]

協働の対象となる市民活動団体と出会う方法	実りある協働事業に育てるためのポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会は声をかけやすい ・ 興味のある人 ・ 今まで交流のない市民個人 ・ 被害者 ・ PTA ・ 企業 ・ 警察関係団体 ・ 商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公募とどうちがうのか？ ・ マニュアルを作るのが目的でなく、作る過程でのネットワーク作り、それをその後のアクションにつなげる ・ 終わりなき検討委員会

13 . 道路環境美化ボランティアの里親制度 (アダプト・プログラム) [市土木管理課]

この提案は「アダプト・プログラム」と呼ばれるもので、一定地域を「養子」に見立て市民が里親になって美化活動を行うというものです。この方式はアメリカ・テキサス州で始まったもので全米50州で採用されており、道路で始まって河川や海浜などに対象が広がられています。日本でははじめて徳島県の吉野川で取り入れられ、全国へ広

まっています。2004年12月で、全国で200件超、神奈川県では横浜、横須賀、藤沢などですでに実施されています。市民の役割は清掃、美化、報告で、「自分たちの住んでいる地域を自分たちで守ろう」ということで参加をお願いします。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
協働の具体的内容に対するアドバイス ・里親の「里子」は道路という無機物でなく「木」という有機物のほうが良い	
協働の実現性を高めるためのアドバイス ・市民が思っている(期待している)ことを聞き出す機会がつかれるとよいですね ・現状の道路の評価や、住民による“声”を聞くようなことをまずやるべきです	

発表

- ・ 協働についての問い合わせが4件ありました。 企業との協働も考えられます。[提案者]

協働の対象となる市民活動団体と出会う方法	実りある協働事業に育てるためのポイント
・ イメージしている団体企業に市民活動課と一緒に声かけをする ・ けやき提案の落ち葉サポーター	・ できるだけ公開の場で検討する ・ 企業と協働する場合は看板は企業にお願いし、企業PRにもなる



14.“ふくしの手全員集合”[市福祉総務課]

「大和市地域福祉計画」を進めるうえで、「人材・拠点・ネットワーク」が活動を行っていく際の課題でもあり、ヒントでもあります。協働事業とすることで、チャレンジ事業をPRし、地域の福祉を推進

したい。手と手のコーディネート、人材募集をテーマにしたイベント企画も考えています。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
<p>協働の体制づくりのためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人は地域福祉の推進も目的としています。ボランティアネットワークとして各法人と協働していくことは可能と思われます。法人としても“ふくしの手全員集合”のPRを行うことができます 	

発表

- ・ 市民団体に声をかけていきたい。今日この場でも「一緒にやってみよう」との申し出があり、横のつながりができたと思います。[提案者]

協働の対象となる市民活動団体と出会う方法	実りある協働事業に育てるためのポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO法人 ・ ボラセンの団体 ・ 福祉施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノウハウを持っている福祉NPO団体、施設とネットワークでき、地域に還元していけることがポイントである



15 .資源とごみの出し方変更に関する市民説明会協働開催事業[市環境総務課]

大和市のゴミの半分は資源にできます。その処理に現在42億円かかっています。資源回収は限界で横ばいであり、新しい取り組みが必要です。資源ごみを分別できればコストを下げることができますし、ごみの減量化に努める人とそうでない人が同じ税金を払っているのはどうか、という声もあります。

そこで市は平成18年4月の条例改正を念頭に、家庭ごみの有料化・個別収集を考えています。それに向けてもっと広く市民に情報を知らせ、共に新しい仕組みを考えてくれる方を募集します。



チェックポイントシート

提案に対するアドバイス	質問
協働の具体的内容に対するアドバイス ・ごみ半減の智恵集め、協働の方法を考える“ご近所の底力”型のアプローチも考えて！	

発表

- ・ 協働事業とする意味を明確にしたい。[協働推進会議委員]
- ・ 市民の意見を反映させるよい機会だと思うが、それには「説明会」という名前はどうかと思う。[協働推進会議委員]
- ・ 6月30日に意見交換会が行われるので関心のある方はぜひ参加してください。[提案者]

協働の対象となる市民活動団体と出会う方法	実りある協働事業に育てるためのポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会 ・ 集合住宅管理組合 ・ 消費者団体 ・ 企業 ・ 商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明会ではなく検討会ではないか ・ どこでも講座でよかったのではないか ・ 市民の前で話すことができた ・ 広報に載せることができ反響があった ・ 市民全体の課題として取り上げることができる ・ 地域とのつながりができる ・ ただ市からの説明会をするだけでなく、協働することで施策に転換が起こるのではないか ・ 民間企業とも協働することで、ごみの半減につながるのでは... ・ 市民活動センターからPRする



～協働推進会議・小杉皓男委員のまとめの挨拶～

今日は市役所の職員の方が多数参加してくださり、まさに新しい公共が創造されたシンボリックな空間になりました。大和市の協働事業のマーク「あの手この手」は、市民等と市の手を合わせて問題を解決していこうという意味が込められており、真ん中のカーブはソリューション（問題解決）を象徴しています。今日は皆さんありがとうございました。

参加されていた皆さんからのアドバイスと感想

プレゼンテーションの前（提案書提出後）に提案書（計画）として不足する部分を提案者に伝え、改善案をもってプレゼンにのぞめるようにするとこの場がもっと効果的になると思います。

市側から多くの参加があったことに感動しました。このような協議を議論とし新しい公共へとつながっていくことを期待します。

感想になって申し訳ないのだが、行政、市民団体側ともがお互いにパートナーを見つけ合うことで、協働がなり立つのだなと感じた。しかし、この公開プレゼンテーションという場にそれぞれ事業の対象、受益者となる市民がいないのが、少し、残念かなと思う。事業の提供者はもちろんそれを利用するであろう市民がいれば、もっと話に具体性が出たのではないかと思った。それぞれの事業の実現に期待したいと思う。

防犯マニュアル作成事業について、高齢化社会の現実的ニーズに伴い単に空き巣とかではなく、オレオレ詐欺や、認知症の方をだます業者なども含めたきめこまかな、そして広い意味での「防犯」に広げてつくっていったら協働で住民の声も生きると考えます。その意味では、行政の中で高齢者福祉課などとも連携したマニュアル化していったほしい行政内の横のつながりをもって欲しい。

議会事務局にいと、市民と直接お話する機会があまりないので、こういう場で、お話しすることができて大変勉強になりました。

1つ質問です。次回の公開検討会の日程は3連休の中日です。とっても参加しづらい日程です。今後は普通の日曜にしてください。夏休みの3連休、サラリーマンには貴重です。

協働のスケジュールとして、H.17.7～始めたような提案が少なからずあった。協働の全体像が提案者にうまく伝わっていないのでは？

まほろばの何の用事でか知らないが、提案者が帰ってしまうのみならず、13時にはさんと面会して、代理者が出席しているにもかかわらず代わって提案のことを話すのはどういう事ですか？事前にそのような打ち合わせをしてもよいのですか？ したとしてもさんが話すものではないと思う。帰ってしまった代理者が話すべきで、納得できない。皆変に思っている。説明してほしい

ゴミ処理の問題は深刻です。単に有料化するだけではなかなか解決しないのでは。現実に出されている資源ごみ（紙・金属等）の徹底的な回収こそ、効果的な手段ではないでしょうか。自治会などにこの面でもっと強力で協力要請する方法は如何でしょうか。分別の努力をおしむことなく、進めることが根本的な解決につながると思います。

協働事業行政から、市民が学ぶこと市民から行政が学ぶことこれによって、大和市のまちづくりの推進を市民のひとりとして願うものです。有意義な公開プレゼンテーションでした。